

## 兵庫県鉱工業指数 平成27年(2015年)基準改定の概要

## 1 作成の趣旨

- ・ 鉱工業指数<sup>1)</sup>は、県内の鉱工業生産活動の水準をあらわす数量指数で、生産指数(生産活動状況)、出荷指数(需要動向)、在庫指数(在庫状況)、在庫率指数<sup>2)</sup>を作成した。
- ・ 現行基準(平成22年)を平成27年に更新し、ウェイトや採用品目を見直した。
  - 1) 「生産動態統計調査」(経産省)や他の統計(食料品、医薬品、鉄道車両等)から作成
  - 2) 在庫率指数 = 在庫数量 / 出荷数量 (または生産数量)

## 2 改定対象と作成方法

- (1) 対象: 生産指数、出荷指数、在庫指数及び在庫率指数
  - (2) 期間: 平成25年1月から月次で作成(接続指数により平成24年以前の指数と接続)
  - (3) 方法
    - ・ 平成27年1か月当たりの平均生産量を基準数量として、比較月の生産量を指数化した。
    - ・ 各品目の基準時(平成27年)のウェイト(重要度)で加重平均して算出した。<sup>3)</sup>
- 3) 基準時固定ウェイトで比較時の数量を評価する方式(ラスパイレス方式)

## 3 改定の主な内容

- (1) 基準時: 平成22年から平成27年(H27年平均=100.0)に変更(5年毎に改定)
- (2) 業種分類: 原則として日本産業分類(第13回改定、平成25年10月)に準拠した。
  - ・ 「はん用・生産用・業務用機械工業」を「汎用・業務用機械工業」と「生産用機械工業」に分割
  - ・ 「鉄鋼業」、「非鉄金属工業」を「鉄鋼・非鉄金属工業」に、「電気機械工業」、「情報通信機械工業」を「電気・情報通信機械工業」に統合
  - ・ 「繊維工業」を「その他工業」に編入
- (3) 業種別採用品目(表1、表2)
  - ・ 業種別に代表性の観点から品目を選定した。
  - ・ 用途、単価の変動を考慮し統合・分割の見直しをした。

表1 品目数比較

項目	兵庫県			全国		
	H22年基準	H27年基準	差	H22年基準	H27年基準	差
生産・出荷指数	312	313	1	487	412	▲ 75
在庫指数	208	191	▲ 17	348	292	▲ 56
在庫率指数	208	182	▲ 26	336	285	▲ 51

表2 採用品目数新旧比較

項目	生産・出荷			在庫		
	H22年基準	H27年基準	差	H22年基準	H27年基準	差
鉱工業	312	313	1	208	191	▲ 17
製造工業	310	311	1	206	189	▲ 17
鉄鋼・非鉄金属工業	42	43	1	38	38	0
金属製品工業	27	21	▲ 6	21	17	▲ 4
生産用機械工業	25	29	4	11	10	▲ 1
汎用・業務用機械工業	21	18	▲ 3	7	6	▲ 1
電子部品・デバイス工業	13	16	3	8	7	▲ 1
電気・情報通信機械工業	40	47	7	13	14	1
輸送機械工業	13	14	1	2	3	1
窯業・土石製品工業	20	19	▲ 1	19	18	▲ 1
化学工業	37	36	▲ 1	31	31	0
石油・石炭製品工業	2	3	1	2	3	1
プラスチック製品工業	10	8	▲ 2	10	8	▲ 2
パルプ・紙・紙加工品工業	8	8	0	8	8	0
食料品工業	20	18	▲ 2	9	—	▲ 9
その他工業	32	31	▲ 1	27	26	▲ 1
鉱業	2	2	0	2	2	0

念に適合するように組み替えを行い、算定した。

表3 業種別ウェイト新旧比較

項目	生産			出荷			在庫		
	H22年基準	H27年基準	差	H22年基準	H27年基準	差	H22年基準	H27年基準	差
鉱工業	10,000.0	10,000.0	0.0	10,000.0	10,000.0	0.0	10,000.0	10,000.0	0.0
製造工業	9,998.9	9,998.5	▲ 0.4	9,999.2	9,999.3	0.1	9,997.3	9,987.9	▲ 9.4
鉄鋼・非鉄金属工業	958.4	981.4	23.0	1,426.3	1,490.5	64.2	1,905.0	2,305.4	400.4
金属製品工業	460.2	778.4	318.2	437.8	645.6	207.8	496.0	758.5	262.5
生産用機械工業	904.8	826.6	▲ 78.2	739.6	686.7	▲ 52.9	1,017.4	872.7	▲ 144.7
汎用・業務用機械工業	1,411.4	819.1	▲ 592.3	1,074.2	735.4	▲ 338.8	608.1	307.4	▲ 300.7
電子部品・デバイス工業	345.6	319.4	▲ 26.2	429.1	238.1	▲ 191.0	201.5	199.4	▲ 2.1
電気・情報通信機械工業	1,192.9	1,583.2	390.3	1,255.0	1,695.9	440.9	928.7	1,368.5	439.8
輸送機械工業	989.6	975.2	▲ 14.4	1,205.9	904.2	▲ 301.7	120.0	237.8	117.8
窯業・土石製品工業	549.4	269.9	▲ 279.5	321.5	225.3	▲ 96.2	511.1	607.2	96.1
化学工業	1,217.3	1,194.6	▲ 22.7	1,301.2	1,096.5	▲ 204.7	1,765.6	1,799.3	33.7
石油・石炭製品工業	11.3	38.8	27.5	66.6	90.9	24.3	60.8	47.3	▲ 13.5
プラスチック製品工業	265.5	405.6	140.1	305.8	334.9	29.1	464.1	497.6	33.5
パルプ・紙・紙加工品工業	298.2	239.3	▲ 58.9	288.1	209.8	▲ 78.3	682.3	221.7	▲ 460.6
食料品工業	861.9	1,092.9	231.0	729.8	1,269.1	539.3	804.1	—	—
その他工業	532.4	474.1	▲ 58.3	418.3	376.4	▲ 41.9	432.6	765.1	332.5
鉱業	1.1	1.5	0.4	0.8	0.7	▲ 0.1	2.7	12.1	9.4

表4 ウェイト（中分類）比較

項目	上昇業種	H22年基準	H27年基準	差	低下業種	H22年基準	H27年基準	差	
									兵
庫	生産	金属製品工業	460.2	778.4	318.2	窯業・土石製品工業	549.4	269.9	▲ 279.5
		食料品工業	861.9	1,092.9	231.0	生産用機械工業	904.8	826.6	▲ 78.2
		食料品工業	729.8	1,269.1	539.3	汎用・業務用機械工業	1,074.2	735.4	▲ 338.8
	出荷	電気・情報通信機械工業	1,255.0	1,695.9	440.9	輸送機械工業	1,205.9	904.2	▲ 301.7
		金属製品工業	437.8	645.6	207.8	化学工業	1,301.2	1,096.5	▲ 204.7
		電気・情報通信機械工業	928.7	1,368.5	439.8	パルプ・紙・紙加工品工業	682.3	221.7	▲ 460.6
在庫	鉄鋼・非鉄金属工業	1,905.0	2,305.4	400.4	汎用・業務用機械工業	608.1	307.4	▲ 300.7	
	その他工業	432.6	765.1	332.5	生産用機械工業	1,017.4	872.7	▲ 144.7	
	食料品・たばこ工業	613.9	1,313.8	699.9	電気・情報通信機械工業	1,121.1	839.3	▲ 281.8	
全	生産	汎用・業務用機械工業	571.9	728.6	156.7	電子部品・デバイス工業	818.6	580.8	▲ 237.8
		その他工業	718.0	751.9	33.9	化学工業	1,277.4	1,093.0	▲ 184.4
		食料品・たばこ工業	579.3	1,266.0	686.7	輸送機械工業	2,218.9	1,871.4	▲ 347.5
	出荷	その他工業	482.2	597.1	114.9	電気・情報通信機械工業	1,060.0	773.6	▲ 286.4
		汎用・業務用機械工業	514.2	607.7	93.5	電子部品・デバイス工業	711.1	478.4	▲ 232.7
		食料品・たばこ工業	326.5	860.4	533.9	窯業・土石製品工業	643.2	361.6	▲ 281.6
在庫	化学工業	1,413.1	1,664.0	250.9	輸送機械工業	1,013.1	757.4	▲ 255.7	
	電子部品・デバイス工業	368.3	489.2	120.9	その他工業	868.2	629.2	▲ 239.0	

(5) 季節調整法

- 季節調整済指数<sup>4)</sup>は、季節変動（月ごとに繰り返される動き）の影響を取り除いた指数

4) 季節調整済指数 = 原指数 / 季節指数

- 平成22年基準指数と同じ方法（米国商務省センサス局X-12-ARIMA）を用いた。

(6) 新基準の公表

- 平成27年基準指数への切り替えは、平成31年2月速報（平成31年4月26日公表予定）
- 過去系列は、平成25年1月以降について新基準による系列を公表する。
- 基礎となる「生産動態統計」の年間補正結果を受け、平成30年指数の見直し、季節指数（季節要因）の計算及び季節調整済指数の再計算を行う。
- 平成27年基準改定結果詳細は、次のURLを参照

[https://web.pref.hyogo.lg.jp/stat/cate3\\_710.html](https://web.pref.hyogo.lg.jp/stat/cate3_710.html)

### 3 新旧基準指数の比較

- ・新旧基準鉱工業指数<sup>5)</sup>を比較すると、比較的近い動向を示している。
- ・平成30年以降はやや異なった動向を示している。これは、在庫指数は、品目ごとの基準年の平均在庫数量やウェイトが異なることが影響している。

5)平成22年基準指数は、比較のため平成27年=100.0として作図

図1 鉱工業生産指数の推移

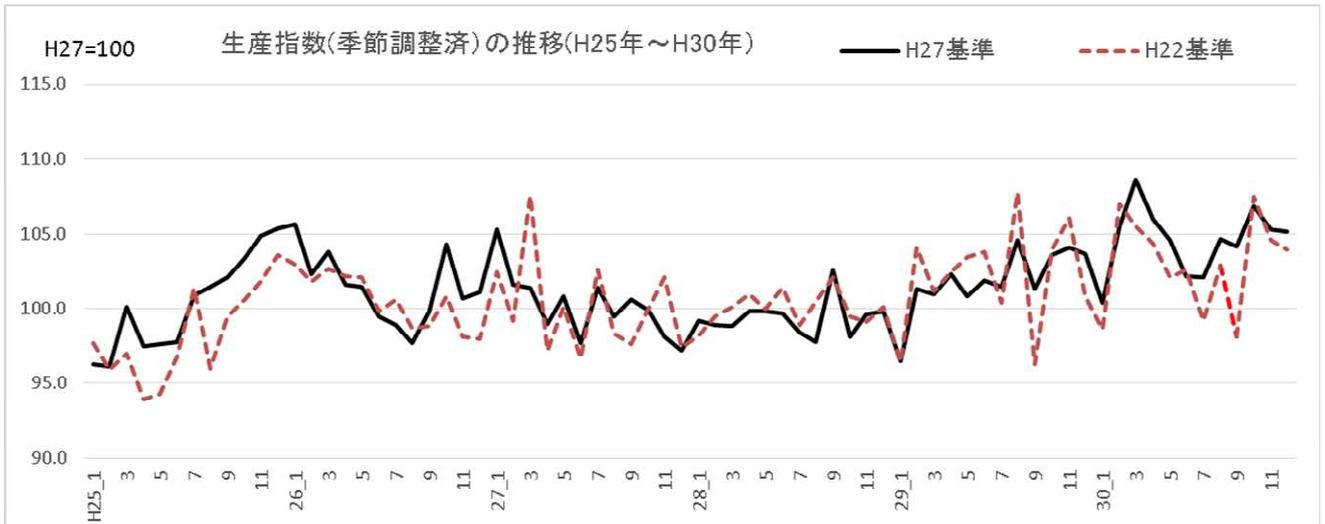


図2 鉱工業出荷指数の推移

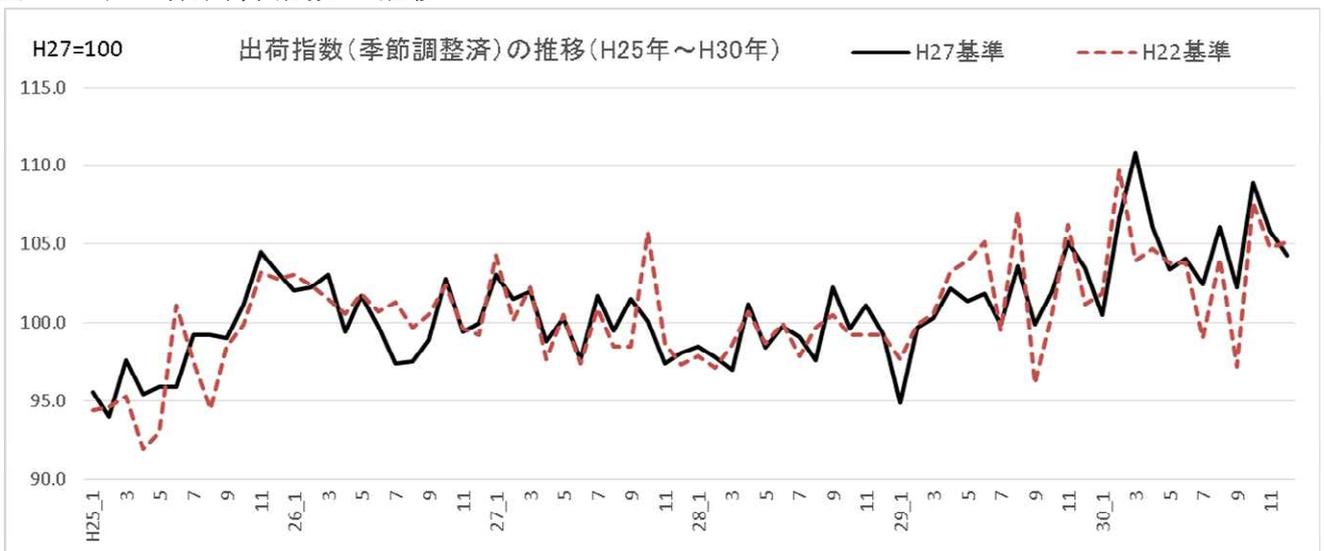
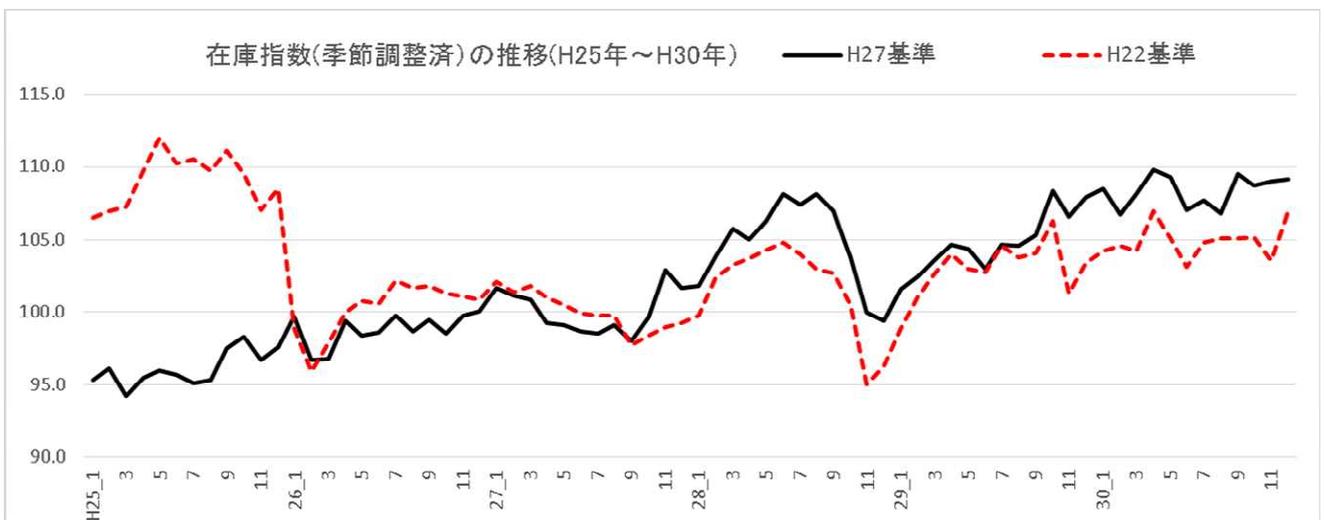


図3 鉱工業在庫指数の推移



参考表1 業種中分類新旧表

平成22年基準

鉱工業
製造業
鉄鋼業
非鉄金属工業
金属製品工業
はん用・生産用・業務用機械工業
生産用機械工業
はん用機械工業
業務用機械工業
電子部品・デバイス工業
電気機械工業
情報通信機械工業
輸送機械工業
窯業・土石製品工業
化学工業
石油・石炭製品工業
プラスチック製品工業
パルプ・紙・紙加工品工業
繊維工業 (H22年基準)
食料品工業
その他工業
木材・木製品工業
家具工業
印刷業
ゴム製品工業
皮革製品工業
その他製品工業
鉱業

平成27年基準

鉱工業	備考
製造業	
鉄鋼・非鉄金属工業	新設(鉄鋼業+非鉄金属工業)
鉄鋼業	小分類として編入
非鉄金属工業	小分類として編入
金属製品工業	
生産用機械工業	小分類から格上げ
汎用・業務用機械工業	(はん用・生産用・業務用機械-生産用機械工業)
汎用機械工業	名称変更
業務用機械工業	
電子部品・デバイス工業	
電気・情報通信機械工業	新設(電気機械工業+情報通信機械工業)
電気機械工業	小分類として編入
情報通信機械工業	小分類として編入
輸送機械工業	
自動車工業	小分類新設
輸送機械工業(除自動車工業)	小分類新設
窯業・土石製品工業	
化学工業	
無機・有機化学工業	小分類新設
化学工業(除無機・有機化学工業)	小分類新設
石油・石炭製品工業	
プラスチック製品工業	
パルプ・紙・紙加工品工業	
食料品工業	
その他工業	
繊維工業	小分類として編入
木材・木製品工業	
家具工業	
印刷業	
ゴム製品工業	
皮革製品工業	県独自設定
その他製品工業	
鉱業	

参考表2 平成27年基準新規・廃止・統合再編品目

業種名	新規品目	廃止品目	統合再編	
鉄鋼・非鉄金属工業	1 普通鋼鋼矢板 2 普通鋼大形棒鋼 3 普通鋼小形棒鋼 4 特殊鋼磨棒鋼 5 アルミニウム系鍛工品	1 その他金属めっき鋼板 2 亜鉛	1 普通鋼鋼線 2 特殊鋼鋼線 3 プリキ・ティンフリースチール 4 アルミニウム地金	普通鋼冷間仕上鋼材(磨棒鋼・線類)の一部 PC鋼線 ピアノ線 プリキ (ティンフリースチール) アルミニウム二次合金地金 アルミニウム二次地金
金属製品工業	6 ビル用アルミニウムサッシ	3 粉末冶金製機械材料	5 ガス温水給湯暖房機・風呂がま 6 スチール製缶 7 ばね	ガス風呂がま ガス温水給湯暖房機 ドラム缶 18リットル缶 食缶 かさね板ばね ねじり棒ばね 線ばね うす板ばね
生産用機械工業	7 個装・内装機械 8 歯切り盤・歯車仕上げ機械 9 金属工作専用機 10 液圧プレス 11 超硬バイト 12 超硬カッタ 13 その他の超硬工具 14 数値制御ロボット	4 ショベルトラック 5 トンネル掘進機 6 集じん機器	8 金型	プレス用金型 プラスチック用金型
汎用・業務用機械工業	15 空気圧機器 16 運搬用クレーン 17 一般冷凍空調用冷凍機	7 一般用蒸気タービン 8 たばこ自動販売機 9 水道メータ	9 油圧機器	油圧ポンプ 油圧モータ 油圧バルブ 油圧ユニット
電子部品・デバイス工業	18 発光ダイオード 19 カプラ・インタラプタ 20 インダクタ(コイルを含む) 21 電子回路実装基板	10 モス型半導体集積回路(メモリ) 11 混成集積回路 12 音響部品(スピーカー・マイクロホン)	10 シリコントランジスタ 11 電界効果型トランジスタ 12 IGBTトランジスタ	トランジスタ
電気・情報通信機械工業	22 水車及びその他の交流発電機 23 電磁リレー 24 低圧遮断器 25 低圧開閉スイッチ 26 非標準油入り変圧器(10000kVA未満) 27 モールド変圧器 28 その他の乾式変圧器 29 LEDランプ 30 乾電池 31 医用X線装置 32 海上・航空移動通信装置 33 ネットワーク接続機器	13 アーク溶接機 14 固定通信装置 15 端末装置	13 電気照明器具	特殊用白熱灯器具 一般用白熱灯器具 蛍光灯器具
輸送機械工業	34 二輪自動車(125ml以下)		14 二輪自動車部品	エンジン (ブレーキ装置等)
窯業・土石製品工業	35 無アルカリガラス基板	16 護岸用コンクリートブロック 17 生石灰		
化学工業	36 無溶剤系合成樹脂塗料 37 印刷インキ用ワニス 38 柔軟仕上げ剤	18 無水酢酸	15 石けん類 16 界面活性剤	石けん (洗顔・ボディ用身体洗剤) 非イオン界面活性剤 陰イオン界面活性剤
石油・石炭製品工業		19 潤滑油	17 コールタール製品	粗製ベンゼン (コールタール他)
プラスチック製品工業		20 プラスチック製容器(中空成形以外)	18 プラスチック製フィルム・シート	プラスチック製フィルム プラスチック製シート
食料品工業	39 惣菜・すし・弁当	21 米菓 22 米穀粉	19 麺類	即席めん めん類
その他工業			20 紡績糸 21 綿・毛織物 22 染色整理(綿・合成繊維織物・ニット生地) 23 ニット製繊維製品(下着・補整着・靴下) 24 金属製家具	ビスコーススフ糸(アクリル系他) 綿織物 毛織物 綿織物染色整理 合成繊維織物染色整理 ニット製下着 靴下 金属製保管庫類・棚(金属製机)
	40 特殊車両用タイヤ 41 ゴム製履物 42 コンベヤベルト	23 自動車用タイヤ	25 その他のゴム製品	ゴム製運動競技用品(医療・衛生用)

業種: パルプ・紙・紙加工品工業は該当項目なし